南小学校　学校便り

# 「希望の子」

文責：校長

令和７年　７月１８日　**第３号**

## ご協力ありがとうございました

１学期前半が終わり、夏休みに入る時期になりました。これまでのご協力ありがとうございました。

４月からこれまで、子どもたちは元気に登校し、先生や友達と楽しく学習することができました。子どもたちが、安全に気を付けて、元気にすごすことができたことを大変うれしく思っています。保護者や地域の皆様方のご協力に、心より感謝申し上げます。

南っ子には、この夏休みならではの体験をたくさんしてほしいと思います。８月２５日にまた元気な南っ子に会えるのを楽しみにしています。

## お手伝いのススメ

１　お手伝いの効果

夏休みは時間自由に使える時間が多いので、お手伝いを導入したりレベルアップしたりするチャンスです。

お手伝いをすることで、次のような効果が期待できます。

○　お手伝いをしていると、「生きる力」が育ちます。
○　テストでは測れない「見えない学力」が育ちます。
○　親の苦労が分かる子になります。
○　家庭生活を送る上で、自分も大切な役割を果たしているという実感をもちます。
○　家族の間のつながりを深め、思いやる心を育てます。

勉強も大切ですが、子供の発達段階に合ったお手伝いをさせるというのも、幸せな人生を送る上でとても大切です。

２　お手伝いを「しなかった子」と「してきた子」の違い

ここで、お手伝いを勧めている方の意見を紹介します。

お手伝いをしないまま大きくなった子に見られる傾向を書いています。少しドキッとする内容です。

何の家事労働（お手伝い）も与えられずに大きくなってきた子は、だらしなく、わがままで、仕事を嫌います。よく口答えをし、言いつけに従おうとしません。単調な

～裏面に続きます～

仕事や、根気を要する学習は、特に嫌がります。

それに対して、お手伝いをしてきた子には次のような傾向が見られるそうです。

> 小さいころから、生活習慣として家事労働（お手伝い）の役割をちゃんと与えられてきた子には、仕事であれ、勉強であれ、ちゃらんぽらんにする子はいません。
> 「見える学力、見えない学力」　岸本裕史

必ずそうなるかは分かりませんが、そういう傾向があるような気がします。

すでにお手伝いをさせているご家庭はたくさんあると思いますので、続けさせていただきたいです。

## 3　小学生がしているお手伝いの例

小学生がしているお手伝いには、次のようなものがあります。

洗濯物干し、洗濯物たたみ、洗濯、ゴミ捨て、食器の片づけ、食器洗い、テーブルふき、庭掃除、水やり、風呂洗い、玄関掃除、部屋掃除、布団ひき、布団たたみ・・・等々。

高学年になれば、家庭科で学習した成果を生かすこともできそうです。

「小学生がしているお手伝い」などのワードで検索すると、子供さんに合ったお手伝いの例が見つかると思います。

## 4　このキーワードで教えるとよいのでは

教員に限らず、指導する立場の人は、必ず次の言葉を意識しています。

> 「言って聞かせ、やって見せて、やらせてみて、ほめてやらねば　人は動かじ」

お手伝いに限らず、子供に何かを教えて、できるようにさせるときは、この言葉通りにするとうまくいきます。はじめは、殆ど親がします。説明しながらやって見せます。このお手伝いをすることで、家族がいかに助かるかということも伝えるとよいでしょう。

少しずつ子供がする割合を増やしていきます。ちょっとできるようになる度にほめます。

きっと夏休みの間にお手伝いの習慣が身についていくと思います。

**南小ホームページを更新しています**

学校の様子は南小学校のホームページに記しております。

ぜひご覧ください。　南小 HP の QR コード →